

車両用無線機器収容箱の開発について

2021/07/23

JE6URJ

1.はじめに

本事業は自動車に車載型アマチュア無線機(以下、モバイル機という)を搭載するにあたり専用バッテリーを用い動作させることを目的として開始したものである。

2.コンセプト

本事業においては以下をコンセプトとした。

- 運転に際し支障を及ぼさないこと
- 運転席および助手席において全ての操作を可能とすること
- 一般的な視点において不自然とならないこと

3.成果物

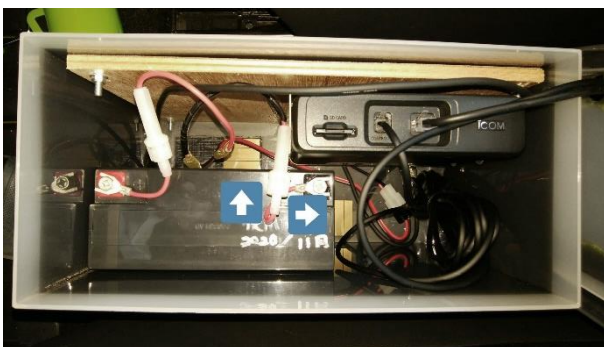
収容箱を作製し、センターコンソール後ろに設置した。なお、底部に面ファスナーを張り付け滑りにくくする措置を取ったものの、ボルト止め等の固定措置はしていない。以下、詳細である。

・無線機本体について

無印良品製ポリプロピレンファイルボックス(外寸約幅 150×奥行 320×高さ 241.5 mm)(以下、箱という)の内側に適当な大きさの木版をボルト止めし、L字アングルを用いてモバイル機本体を固定した。またバッテリーについては LONG 製完全密封型鉛蓄電池 12V22Ah WP22-12N を箱の中に入れた。なお、バッテリーの固定の為にL字アングルを箱内に両面テープで張り付けた。

・コントローラーについて

箱のフタ(外寸約幅 160×奥行 330×高さ 35 mm)の上にスマホ用の台を用い固定した。なお固定には強力接着剤を用いた。配線については適当な位置に16φの穴を開け通した。マイクについてはコントローラー用の穴から線を取り出し、ドリンクホルダーに張り付けたフックに掛けた。



▲箱内の様子(矢印はバッテリー固定具の位置)



▲箱のフタの様子